

Florida, with special reference to the Dry Tortugas. Publ. Carnegie Inst. Wash. 1-219, 3 figs, 37 pls. Tseng, C.K. 1941. Studies on the Chinese species of *Liagora*. Bull. Fan Mem. Inst. Biol., Bot. Ser. 10: 265-281. 梅崎 勇 1961. 紅藻類ケコナハダの生殖器官の発達に関する研究。植研 36: 233-239. Weber van Bosse, A. 1921. Liste des algues du Siboga. Siboga-Exped. Monogr. 596: 197-203. Womersley, H.B.S. 1965. The Helminthocladiaceae (Rhodophyta) of southern Australia. Aust. Bot. 13: 451-487. 山田幸男 1938a. こなはだ属ニ就テ (其二) 植研 14: 1-10. — 1938b. こなはだ属ニ就テ (其三) 植研 14: 77-163. Yamada, Y. 1938c. The species of *Liagora* from Japan. Sci. Pap. Inst. Algal. Res., Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ. 2(1): 1-34.

□コリンズ野生ラン図典 (J.G. Williams, A.E. Williams & N. Arlott: A field guide to the Orchids of Britain and Europe with North Africa and the Middle East) 176 pp. 1978. Collins, London. 秀文インターナショナル発売, 東京. ¥4,200. 少し遅いが, 欧州全体はもとより, 北アフリカや中近東まで含めて論ずるようになったことと, 日本の本屋が発売するに至ったので一報する。野生植物(花)図典や地名小事典と同時に販売されている。最初に各属の key をかかげ, 次に種の多い *Ophrys* と *Orchis* の詳しい検索表をつけ, この後に左ページにランの開花した全体図を掲げ, 右ページに簡単な記載を載せているが, 主な亜種に及ぶなど中々詳しく, 全部で245亜種及び変種に達する。7ページに及ぶ用語解説の他に, 全138種の採集した地点や日付を書き込む用紙が添えてあるなどは, 大分日本より保護が必要なることを暗示している。附録に‘中野 進: ラン, 東西比較考’を添える。22ページの小冊子ながら存外面白い。

(前川文夫)

□倉知 敬 (訳): 青いケシの国 (Ward, F. Kingdon: The land of the blue poppy) 363 pp., 地図1, pls. 9. 1982. 白水社, 東京. ¥1,800. 著者 F.K. Ward は著名な探検家で中国内陸, チベット, ビルマ等に22回も入り込んだ人である。第2回目, 1911年に雲南北部と東チベットにわたり, 植物を採集し, 且つ年の終わりに再び植物の種子を集めるといった風の探検をした記事が本著である。ビルマから入り, 揚子江, メコン, サルウインの三河が奥深くしかも平行して流れ三河の間には巖々として聳える山脈が横たわっているところを何度も横断し, またビルマにかえったのであるが, その間の紀行文をじつに生々と記しており, 訳文も流暢である。距離は近いのに高さがひどく違い, 閉鎖された河谷の有様などがよく描かれていて興味深い。それにたくさんの植物名がでてくるが, 括弧内にその学名や科名がそえられていて, 読んでいてまことにありがたい。

(前川文夫)